



英進館の名文暗唱カリキュラム



※年間の予定は変更することがあります。また、学習効果を高めるため、同じ題目を異なる学年で再度扱うことがあります。

平成28年3月

	4月	5月	6月	7月	夏期講習	9月	10月	11月	12月	冬期講習	1月	2月	3月・春期
中3	「論語」 (為政第二)	「山のあなた」 カール・ブッセ	「檸檬」 梶井基次郎 	「十訓抄」 (大江山)	「奥の細道」 (冒頭・平泉) 松尾芭蕉	「春望」 杜甫	「新古今 和歌集」 より三夕の歌 など五首	「仰げば 尊し」					
中2	「一握の砂」 より六首 石川啄木	「老人と海」 ヘミングウェイ	「勸学篇 第一」 (出藍) 荀子	「草枕」 夏目漱石	「平家物語」 (巻第一 祇園精舎)	種田山頭火 尾崎放哉の 自由律俳句	「枕草子」 (第二九九段) 清少納言	「初恋」 島崎藤村 	「羅生門」 芥川龍之介	「古今和歌集」 (仮名序) 紀貫之	「蟹工船」 小林多喜二	「レモン哀歌」 高村光太郎	「山椒大夫」 森鷗外
中1	「学問ノ ススメ」 福沢諭吉	正岡子規の 俳句	「醒睡笑」 (鈍副子・ 児の噂) 安楽庵策伝	「人間失格」 太宰治	「竹取物語」 	「金閣寺」 三島由紀夫	「山椒魚」 井伏鱒二	「矛盾」 韓非	「土佐日記」 紀貫之	「小倉百人 一首」 より五首	「夜明け前」 島崎藤村	「小景異情」 室生犀星	「枕草子」 (序段) 清少納言

	2月	3月	春期講習	4月	5月	6月	7月	夏期講習	9月	10月	11月	12月	冬期講習	1月
小6	五十音図・ いろはうた	「故郷」 高野辰之		「吾輩は 猫である」 夏目漱石	「便所掃除」 浜口国雄	「和俗 童子訓」 貝原益軒	「生まれ出 ずる悩み」 有島武郎	「道程」「ぼろ ぼろな駝鳥」 高村光太郎	「斜陽」 太宰治	「パンセ」 パスカル	「勸学篇 第一」 (出藍) 荀子	「仰げば 尊し」		
小5	五十音図・ いろはうた	「万葉集」 山上憶良の長歌と反歌		「伊豆の 踊子」 川端康成	「心に太陽を 持て」 フライシュレン 山本有三	「変身」 カフカ	「赤光」 斎藤茂吉	「椰子の実」 島崎藤村	「小さき者へ」 有島武郎	「月夜の 浜辺」 中原中也	「野なかの 薔薇」 ゲーテ	「山月記」 中島敦	「枕草子」 清少納言	「君死にたま ふことなかれ」 与謝野晶子
小4	五十音図・ いろはうた	春の俳句 芭蕉・蕪村 ・一茶 		「トロッコ」 芥川龍之介	「虫けら」 大関松三郎	「東照宮 御遺訓」 徳川家康	「赤い蠟燭と 人魚」 小川未明	「風の又三郎」 宮沢賢治	「寿限夢」	「蜘蛛の糸」 芥川龍之介	「荒城の月」 土居晩翠	「一握の砂」 より五首 石川啄木	「小倉 百人一首」 より五首	「論語」 学而第一 孔子
小3	「杜子春」 芥川龍之介	「雨ニモ マケズ」 宮沢賢治	早口ことば 	いろはうた いろはかるた (後半)	「源氏物語」 紫式部	「淮南子」(塞翁馬) 		「小倉百人 一首」 より七首	「たけくらべ」 樋口一葉	「香炉峰下〜」 李白	「草枕」 夏目漱石	「舞姫」 森鷗外	「方丈記」 鴨長明	「土佐日記」 紀貫之
小2	「万葉集」 山部赤人の 長歌と反歌	「ぼろぼろな 駝鳥」 高村光太郎	つけたし ことば	いろはうた いろはかるた (前半)	「雪国」 川端康成	「枕草子」 (一段) 清少納言 	「坊っちゃん」 夏目漱石	「論語」 孔子	「平家物語」 巻第一	「奥の細道」 松尾芭蕉	「古今集」 (仮名序) 紀貫之	「春望」 杜甫	与謝野晶子の 短歌五首	
小1				あいうえお いろはうた	「五十音」 北原白秋	「きしゃのし よくどう」他 村山壽子	「うさぎのく だものや」他 村山壽子	「鼻」 芥川龍之介	「道程」 高村光太郎	小林一茶・ 与謝蕪村の 俳句	「新古今 和歌集」 より三首	「竹取物語」 	「春暁」 孟浩然	「小倉百人 一首」 より五首